

波 紋

1997 9 月 第147号

ビア・パーティー 7月19日(土)



7月19日に、2年ぶりのビアパーティーの行事がありました。天気にも恵まれ、普段の夏ばても一気に吹き飛んだ気がしました。

今回2年ぶりという事もあり、開場である森松本社の屋上は水あかとホコリで真っ黒けっけ。このままでは、せっかくのパーティーが台無しになると言う事で、製造部方々が時間を作って頂き、デッキブラシで2年間の森松のアカを擦って頂きました。本当に有り難うございました。

今回、十数年ぶりにサンババンドとは違いますが、営業一部の坂本リーダーひきいるバンド演奏もあり、今までとは一味違ったパーティーになったと思います。初めて料理にチャーハン等も出たりしてとても楽しく過ごして頂くことができたと思います。

また、多数のメーカー様より、差し入れやご参加頂きました事を中心よりお礼申し上げます。(参加者大人103名 小人20名)

幹事 横山敏秋 鳥羽幸治
同 西垣浩司 松井宣和
同 金子清道

また、来年もビアパーティーの際には、是非参加してみてください。一気に夏ばてが吹き飛びますよ。

モーリンと廃プラ問題

モーリングループは、環境に対する関心が高まる中、ビニール(P・V・C)を中心にプラスチックを取り扱う企業として肩身がせまい。塩化水素ガスやダイオキシン問題で被告席に立たされているのが現状です。焼却炉の温度をしつかり管理してくれば、まず大丈夫と個人は考えているのだが、紙とか、一般ゴミからでもダイオキシンは発生していると聞きます。小さい業界や、又、弱い業界からイジメが始まるのだ。グチを言ったところで公害の元を出している事には違いないのだから…。

夏休み中に朗報がありました。鉄鋼大手各社が①廃プラスチックを高炉原料化(原料コークスの代用品として年間3万トン)処理する。②プラゴミを固形燃料化する。発電に使う。③ペットボトルの再資源化。繊維製品や、タマゴ容器等に再利用する計画等があるそうで既にプラントを稼働させているとの事、大変うれしい話である。プラスチックは世の中に役立つ石化原料として活躍してきたが、一度だけでなく二度、三度、と役立つ事が出来たら素晴らしいと思います。一步、一歩、そんな夢が実現に近づいてきている最近のニュースです。

森 信之

トシ君の一方通行

小変時代

後四、五年景気が悪いそうだと。といっても、バブルが弾けてから景気の恩恵を受けた覚えはないから景気をあてにはしていないけれど、認識だけはしてはいた方がいいと思う。勿論、景気が悪いから仕方がないという考えを持つている会社じゃないから、「小変」だと思つて頑張りましょう。「小変」というのは大変じゃないという意味。大変というのが「大変」という意味。「小変」という意味は景気が悪いから楽観は出来ないという認識をもつて前向きに事にあたる……。まあ何ていうんかな、「危機感」を常に持つておくことか。いな、誤解されるのは「危機感」を「諦め感」みたいにどる人がいるけど、そうじゃない。危機感ってというのは「常に問題意識」を持ち続けることって意味だと思ふ。そして行動は一度決めたら「楽観的に」……つまり「明るく行動しましょう」ってことかな。大変ということあまり簡単に口に出すと本当は大変なことになる。だって大変だというのは、例えば「山より大きい猪が出たり」することでしょうが、こりゃ大変だわ。でも景気が悪いっていうことは日本中どこでもそうだから、当たり前のこと。つまり大変じゃないんだわ。「小変」です。不景気に負けないで頑張りましょうが「小変」です。

後四、五年不景気であることは申しました。じゃあそれから景気が良くなる？ 誰がそんなこと言いました！ 違ふもつと悪くありません。小変時代は永久に続くでしょうね。この小変時代を乗り切るには一人ひとりが「大きく変わる」つまり「大変」こういう大変は大きい結構です。

今月号も何が何だか分からない
……お粗末君でした

木村英利

森松クインテット

夏休み

結婚して十六回目の夏を終えました。社内では御存知の方が多いと思いますが、私の妻の実家は摂斐郡という岐阜県のいなかで「やな」をやっております。漢字では「築」と書きます。「やな」とは川に竹製の柵のような網のような仕掛けを作り、産卵期に川を下るアユを捕まえる漁法です。一般的には「やな」では捕まえた鮎を河原につくった簡易な小屋で料理して食べさせます。海の無い岐阜県では「やな」はまるで「山の中の海の家」みたいな物です。子供は川で遊び、親は簡易な小屋で川風に涼みながらビールを飲む風景は本当に海に家です。毎年の夏休みは一家で「やなのお手伝い」と決まつておりまして、年々足腰が弱つてきているのを感じながら、その分テクニクは上がったかな、なんて思いながら今年も頑張つてきたわけです。「山の中の海の家」ですから御盆休みは異常な混雑で「待ち時間が二時間ですよ。」と言つても待つてくる人もいます。

そんな状態ですからこの期間にはアルバイトを頼みます。たいていは地元の高校生です。今年も七人のアルバイトがいました。うち二人は三年目のバリバリです。安心して任せられたんですが、あとの一年生二人と二年生三人は初めてなんです。要領がわからない。一年生は言われた事だけをただひたすら遅いけどやりつづける。素直だけが取り柄。それはそれでいいし、来年も来てくれれば結構役に立つ様に成るものですね。今年も勉強期間としてあきらめる。問題なのは二年生。たった一年の高校生活の差でこれだけ変わるのかというぐらいの違いがある。一人めは田舎のかなり名家の御坊ちやま君で働いた経験がない、ひよろつとした色男。次は一般平均的な家庭育ちの、調子だけは異常にいいがすぐふてくされる男。もう一人はマリリンモンローも真つ青の金髪ヘアで眉毛が半分無くてピアスばかりの御姉ちゃん。今年はずつと外れかなと思つていたら、この金髪姉ちゃんが良くやるし良く気が付く事。人間外見ではわからないものです。

結局、私は今時の高校生を見ながら、強烈な自己表現というのは「自分という物」を持つているからできるのかも知れない、と思つた次第です。これからの世の中「中途半端」「平均的」「そこそこ」こういうのは一番使えないタイプかも知れないですね。

(キャロット) 牧野光昌

喜怒哀楽

もう一度

今は想像できないでしょうが昔々私はスイマー(睡魔ではありません)でした。たしか体重は六十五キロ前後しかなく……ウエストは七十九センチあるかないか。ところが先日自分ではベルトをしているつもりがベルトがない、なのにズボンもしっかりウエストに食い込んでいる。昔から比べると十数センチアップしたズボンが。そういえば近頃三階の事務所に上がつてくるのに歩いて息切れがするよなあ。あの頃は駆け上がりでも平気だったよなあ。多分、今五、六年前の私を見たら誰もきがかんだろうなあ。

私はスキーも大好きですが、近年めつきり休憩時間の回数が増えたとし、こぶ斜面に行く息切れや足が付いてこなくなつてきました。それよりスキーウエア今年も着れるよなあ？ ウェットスーツ？ もうとづくに着れません。そんなことを思つていた日、スイミング時代の友人と会いました。なかのよかつた友人達がみなマスターズスイミングで活躍しているそうです。そーいやあ皆で団体にいつたつてな。話を聞くとこころ、今は夜二十四時までやっているスポーツクラブもあるよなあ。もう一度泳いでみようかな。この前も、もうすぐ三歳の息子にプールでババ泳げるの？ ていわれてしまいましたが、パリヤそうだな、水着姿の自分はどう見ても象アザラシかマグロだもんな。頭を見れば坊主だし。ということ、近々水泳をもう一度はじめようと思ひます。

来年マスターズスイミングの記事が載つてましたら、私の名前を探してみてください！



(キャロット) 加藤雅昭

サークル紹介

シクラメン

「新企画・新商品なくして明日の売上なし」の言葉とおり、シクラメンサークルは大変重要な業務を行っています。モーリンの新商品開発の心臓部であり、また加工品の一番川上に位置する立場です。わがサークルは七人で、営業から裁断プレス、スリッター、ウエルダー加工、縫製までを受け持っています。

今、サークルが変わろうとしています。工場の5Sに向け全員が一丸となり真剣に取り組んでいます。

「工場がきれいになると、心も明るくなる」
いつもこの気持ちで仕事をしています。
見て下さい。【この笑顔を！】……

坪井秀夫



坪井工場長

暮らしのエッセイ

今年で二回目

昨年と今年、八月の中頃に友人達と一泊のキャンプに行く事が恒例になっています。目的は、素潜り。昨年は天気が良く、海産物も多くありましたが、今一、自分達が納得するまでにいたらず来年から場所を変えようという話も出ました。が、大ベテランであるK社の社長より「何か取りたかったら人が来ないような所に、船で行かないと何も取れないよ」と神の様な助言をいただきました。

みんなで気合いを入れ、いざ出陣。ゴムボートをこぐ事三十分。人が来ない様な場所に来て、さあみんなで潜水。ところが、ひどいもので海の底は何とゴミだらけ。こんな離れた所でも、ひどいものです。でも、そんな海でも魚や貝がたくさんあったのでよかったです。感動的でした。

みなさんも、一度海の底を見て下さい。泳がない人でも、きつと好きになると思います。



(ボテト) 金子清道

平成9年 9月の社内行事

1日(月)	宮岸さん誕生日
2日(火)	青友会
4日(木)	D・S会合
5日(月)	丹後公園野球場
6日(土)	第一土曜日休み
8日(月)	誕生会 4F
11日(木)	中国情報会 東天紅
12日(金)	青経塾総会 15時30分
13日(土)	第二土曜日休み
14日(日)	王さん誕生日
15日(月)	森松展準備
15日(月)	敬老の日
20日(土)	横山さん誕生日
21日(日)	生産会議 17時40分
22日(水)	秋分の日
23日(火)	経営会議 17時
24日(水)	営業会議 18時
26日(金)	志会 15時30分
27日(土)	浦中さん誕生日
29日(月)	第四土曜日休み
丹後公園	テニス 18時30分

第5回「元気が出る森松展」

テーマ “いま ここ 生情報”

会期 平成9年10月2日(木) 10:00~18:00

3日(金) 8:30~18:00

会場 森松株式会社 5Fホール

さて、今年も元気もりもりの森松展を開催いたします。

今年のテーマは“いま ここ 生情報”です。

世間で風当たりの強くなっている塩化ビニールの良さを改めてPRするとともに、環境にやさしい素材・商品の紹介をして、生の情報を提供していく所存であります。

今年で5年目となりますが、原点にかえり新たな決意で社員一同一層の努力を計る所存でございますので、宜しく願い申し上げます。

皆様の多数の御来場を心よりお待ちしております。

森松展実行委員長

稲葉友昭
山口隆弘

編集発行者
森松株式会社

編集責任者

森下友博

平成9年9月1日
第147号



(サクランボ) 服部高久

四月に入社して早いもので私にとって名古屋の一回目の夏が過ぎようとしています。
アメリカにいた頃のようには毎週というわけではありませんが今年も海へ行くことができ、名古屋は、海も山も近くていい所だと思いました。まだ気が早いかもしれませんが、今が、もうすぐ冬です。今から大好きなスノーボードが楽しみです。まだ名古屋では友達が少ないので、みなさんぜひスノーボードなど、何かある時には気軽に誘ってください。

編集後記